

医学研究実施のお知らせ

厚木市立病院倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

泌尿器科外来でフルオロキノロン系抗菌薬が処方された患者の尿培養（検出菌）と患者背景について

【研究の概要】

■研究の目的

抗菌薬適正使用として、外来の経口抗菌薬使用動向を把握することは重要である。フルオロキノロン系抗菌薬（以下、FQ）は、グラム陽性菌や緑膿菌を含むグラム陰性桿菌など幅広い抗菌活性を有しており、多くの診療科で頻用されている。膀胱炎、前立腺炎、腎盂腎炎などの尿路感染症においてFQは推奨される治療薬である。基礎疾患（前立腺肥大症、前立腺癌、膀胱癌、神経因性膀胱、糖尿病など）を有する複雑性尿路感染症は、大腸菌だけでなく、緑膿菌なども原因菌となるため、FQが処方される傾向がある。尿路感染症の原因菌として大腸菌の割合は高く、以前よりFQ耐性率が増加していることが報告されている。本調査は、FQの使用頻度が高い泌尿器科外来でFQが処方された症例の尿培養の提出状況、培養が陽性化した患者背景、検出菌とFQ耐性率について調査を行う。

■研究期間

2021年4月から2022年3月まで

■対象となる方等

研究機関：厚木市立病院

対象となる方：泌尿器科外来で2021年4月から2022年3月までフルオロキノロン系抗菌薬が処方された症例

■研究に利用する試料、情報等

試料：

情報：患者背景（年齢、性別、基礎疾患）、尿培養（検出菌・感受性）、抗菌薬を診療録から収集する。

■他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

【問い合わせ先（対応時間： 8:30～17:15 ）】

薬剤科 戸田裕太

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。